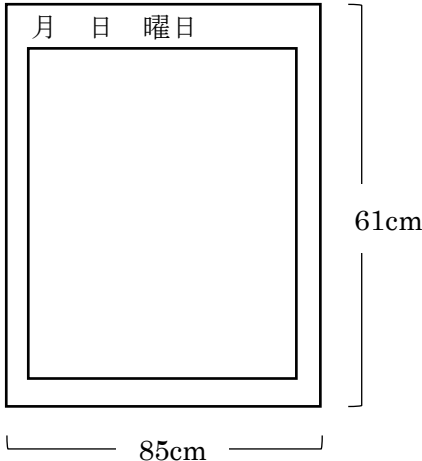
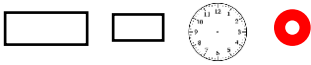


自作教具の活用事例

【作品名】 個別のスケジュール表	【学校名】 日立市立駒王中学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動	【制作者名】 久保田 有紀子
【制作の意図】 時計は読めるが時間の概念がなく、予定どおりに行動することができない。 スケジュール表で1つ1つ確認することで、次の行動や時間を把握できるように促す。	【使用方法】 個別で使用する。毎朝、時間割を生徒と一緒に張り替え、1日の流れを把握できるようにする。ついたてのホワイトボードに掲示し、生徒の座席の脇に置いて、随時確認できるようにする。
【制作上の工夫】 1日のスケジュールを学習、休み時間等に細かく設定し、時間と予定を明確にした。 できたら○を付けることで、目で見ても達成感が実感できるようにした。 1日を振り返り、○の数によって色分けしたシールをカレンダーに貼る。1週間、1か月でどれくらい達成できたかを振り返り、次の意欲につなげる。	【見取り図】 スケジュール表  月 日 曜日 85cm 61cm 各教科、場所、時計、○カード  (それぞれの枠にあわせたサイズ)
【写真】 	【使用効果と応用発展】 時間を意識して行動しようとする姿が、少しずつではあるが増えてきた。 個別対応のスケジュール表ではあるが、支援級のスケジュールとしても対応できるため、支援級在籍の生徒や教師も見て、共通理解することができる。
【材料・材質・部品等】 スケジュール表本体（紙） 各教科、場所、時計、○カード （紙をラミネート、磁石）	